

令和元年度第5回 宇部市インターネット市民モニターアンケート集計結果

1 アンケートのテーマ

『障害のある人への理解について』

- (1) 実施期間 令和元年9月2日（月）～9月16日（月）まで
- (2) 担当部署 障害福祉課

2 モニター数・アンケート回答者数

- (1) メール到達モニター数 436 人
- (2) 回答者数（回答率） 137 人（31.4 %）

3 回答者の属性

※ 端数処理のため比率の合計が100%にならない場合があります。

【年代】

項目	回答者数	比率	グラフ
10歳代	4 人	2.9 %	
20歳代	2 人	1.5 %	
30歳代	16 人	11.7 %	
40歳代	31 人	22.6 %	
50歳代	24 人	17.5 %	
60歳代	32 人	23.4 %	
70歳代	26 人	19.0 %	
80歳代	2 人	1.5 %	

137 人



ご協力、ありがとうございました。

【居住校区】

項目	回答者数	比率	グラフ
東岐波	2人	1.5%	
西岐波	10人	7.3%	
恩田	15人	10.9%	
岬	3人	2.2%	
見初	3人	2.2%	
上宇部	9人	6.6%	
神原	1人	0.7%	
琴芝	11人	8.0%	
新川	8人	5.8%	
鵜の島	6人	4.4%	
藤山	8人	5.8%	
原	4人	2.9%	
厚東	1人	0.7%	
二俣瀬			
小野	2人	1.5%	
小羽山	2人	1.5%	
常盤	15人	10.9%	
川上	11人	8.0%	
厚南	9人	6.6%	
西宇部	4人	2.9%	
黒石	7人	5.1%	
船木	1人	0.7%	
万倉	1人	0.7%	
吉部			
在学・在勤	4人	2.9%	

N=137

【性別】

項目	回答者数	比率	グラフ
女性	65人	47.4%	
男性	72人	52.6%	

N=137

4 回答集計

※ 比率は、各設問の回答対象数（N）に対する割合を示しています。

※ 単数回答であっても、端数処理のため比率の合計が100%にならない場合があります。

『障害のある人への理解について』

担当部署 障害福祉課

アンケートの趣旨

本市では、障害のあるなしにかかわらず、お互いの個性を認め合い、心豊かに共生できるまちづくりを進めています。

誰もが暮らしやすいユニバーサルデザインのまちづくりのため、障害のある人への理解について市民の皆様のご意見をお伺いし、今後の障害福祉施策に活かしていきたいと考えています。本アンケートへご協力をよろしくお願いいたします。

【障害のある人との関わり方について】

【問1】あなたは障害のある人と気軽に話したり、
障害のある人の手助けをしたことがありますか。（いずれかに○）

項目	回答者数	比率	グラフ
1. ある	112 人	81.8 %	
2. ない	25 人	18.2 %	

N=137

【問1-1】 問1で「1. ある」と答えた方にお聞きします。
それはどのような気持ちからですか。（あてはまるものすべてに○）

項目	回答者数	比率	グラフ
1. 困っているときはお互い様という気持ちから	66 人	32.8 %	
2. 身内などに障害のある人がいて、その大変さを知っているから	31 人	15.4 %	
3. 自分の仕事に関連して	40 人	19.9 %	
4. 近所付き合いや親戚付き合いなどで	18 人	9.0 %	
5. 将来、自分も障害を持つ可能性があるから	18 人	9.0 %	
6. 特に理由はない	25 人	12.4 %	
7. その他	3 人	1.5 %	

N=201

問1-2 問1で「2. ない」と答えた方にお聞きします。
なかったのはどうしてですか。（あてはまるものすべてに○）

項目	回答者数	比率	グラフ
1. たまたま機会がなかったから	23 人	71.9 %	
2. どのように接したらよいかわからなかったから			
3. お節介になるような気がしたから	1 人	3.1 %	
4. 専門の人や関係者にまかせた方がよいと思ったから	2 人	6.3 %	
5. 特に理由はない	5 人	15.6 %	
6. その他	1 人	3.1 %	

N=32

【障害のある人への意識について】

【問2】あなたは障害者理解に関する研修会や講演会に参加したことがありますか。
（いずれかに○）

項目	回答数	比率	グラフ
1. 参加したことがある	61 人	44.5 %	
2. 参加したことはない	76 人	55.5 %	

N=137

【問3】あなたは「宇部市障害のある人へのコミュニケーション支援条例」を知っていますか
（あてはまるもの1つに○）

項目	回答数	比率	グラフ
1. 名前は聞いたことがある	35 人	25.5 %	
2. 内容も知っている	12 人	8.8 %	
3. 知らない	90 人	65.7 %	

N=137

【問4】あなたは「障害者差別解消法（障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律）」を知っていますか。（あてはまるもの1つに○）

項目	回答数	比率	グラフ
1. 名前は聞いたことがある	44 人	32.1 %	
2. 内容も知っている	26 人	19.0 %	
3. 知らない	67 人	48.9 %	

N=137

【問5】障害者差別解消法では、障害のある人がない人と同じように生活するために、過大な負担とならない範囲で配慮や工夫を行う「合理的配慮」が求められています。あなたはこのような「合理的配慮」について知っていますか。（あてはまるもの1つに○）

項目	回答者数	比率	グラフ
1. 名前は聞いたことがある	39 人	28.5 %	
2. 内容も知っている	26 人	19.0 %	
3. 知らない	72 人	52.6 %	

N=137

【問6】あなたは地域社会の中で障害のある人に対する配慮や工夫が進んできたと思います（あてはまるもの1つに○）

項目	回答者数	比率	グラフ
1. かなり進んできた	14 人	10.2 %	
2. どちらかといえば進んできた	84 人	61.3 %	
3. 変わっていない	26 人	19.0 %	
4. どちらかといえば後退している			
5. 後退している			
6. わからない	13 人	9.5 %	

N=137

【問7】あなたは地域社会の中で、障害があることを理由にする差別があると思います（いずれかに○）

項目	回答者数	比率	グラフ
1. ある	114 人	83.2 %	
2. ない	23 人	16.8 %	

N=137

【問7-1】問7で「1. ある」と答えた方にお聞きします。それはどのような時ですか。（あてはまるものすべてに○）

項目	回答数	比率	グラフ
1. 仕事や収入	104 人	28.1 %	
2. 教育の場	49 人	13.2 %	
3. 人間関係	60 人	16.2 %	
4. 冠婚葬祭	23 人	6.2 %	
5. スポーツ・趣味の活動	29 人	7.8 %	
6. 地区の行事・集まり	21 人	5.7 %	
7. 店などでの応対・態度	36 人	9.7 %	
8. 交通機関の利用	46 人	12.4 %	
9. その他（具体的に）	2 人	0.5 %	
その他			
・そもそも（障がいのある人に）あまり出会わないことに壁がある			
・バリアフリー化が進んでない			

**【問8】 今後、障害のある人にかかわるボランティア活動に参加したいと思いますか。
(あてはまるもの1つに○)**

項目	回答数	比率	グラフ
1. 参加したい	61 人	44.5 %	
2. 参加したいと思わない(理由:)	19 人	13.9 %	
3. わからない	57 人	41.6 %	
参加したいと思わない理由			
<ul style="list-style-type: none"> ・時間もお金も余裕が無いから ・自分や親のことで手一杯 ・時間がないから ・うまくできなかった時が怖いから ・どのように接していいのかわからない ・時間と手をかけて そこまでする自信がない ・知識や体験がないので不安だし、体力的に自信も無い ・障害者だから ・高齢だから ・ボランティア活動自体に興味がない ・特に理由はない 			

N=137

**【問8-1】 問8で「1. 参加したい」と答えた方にお聞きします。
どのようなボランティア活動に参加したいですか。(あてはまるものすべてに○)**

項目	回答者数	比率	グラフ
1. スポーツ・イベントなどの手伝いや介助	37 人	21.8 %	
2. 朗読・代読	10 人	5.9 %	
3. 手話・筆談・要約筆記	18 人	10.6 %	
4. 学習活動・趣味活動などの介助	25 人	14.7 %	
5. 災害時の援助	29 人	17.1 %	
6. 家事の援助(掃除・洗濯・調理・育児など)	8 人	4.7 %	
7. 外出時の援助(送迎を含む)	17 人	10.0 %	
8. 話し相手	25 人	14.7 %	
9. その他(具体的に)	1 人	0.6 %	
その他			
<ul style="list-style-type: none"> ・原罪ボランティア活動をしている 			

N=170

【障害のある人を取り巻く環境について】

【問9】あなたは次あげる言葉などを知っていますか。（あてはまるものすべてに○）

項目	回答数	比率	グラフ
1. 障害者週間（12月3日～9日）	53人	5.2%	
2. ノーマライゼーション	51人	5.0%	
3. パラリンピック・スペシャルオリンピックス	126人	12.3%	
4. ユニバーサルデザイン	92人	9.0%	
5. 身体障害者手帳	127人	12.4%	
6. 療育手帳	61人	5.9%	
7. 精神障害者保健福祉手帳	52人	5.1%	
8. 障害福祉サービス	74人	7.2%	
9. 自立支援医療	58人	5.7%	
10. 権利擁護・成年後見制度	71人	6.9%	
11. 児童発達支援	60人	5.8%	
12. 障害児の医療的ケア	40人	3.9%	
13. 障害者基本計画・障害福祉計画	31人	3.0%	
14. 障害者総合支援法	28人	2.7%	
15. 障害者基本法	36人	3.5%	
16. 障害者権利条約	25人	2.4%	
17. 障害者優先調達法	8人	0.8%	
18. 障害者虐待防止法	33人	3.2%	
19. 知らない			

N=1,026

【問10】あなたは、発達障害（自閉症、アスペルガー症候群、広汎性発達障害、注意欠陥多動性障害（ADHD）、学習障害（LD）など）について、知っていますか。（あてはまるもの1つに○）

項目	回答数	比率	グラフ
1. 名前は聞いたことがある	61人	44.5%	
2. 内容も知っている	69人	50.4%	
3. 知らない	7人	5.1%	

N=137

【問11】あなたは、「障害者の雇用の促進等に関する法律」では、事業主に対して、その雇用する労働者に占める身体障害者・知的障害者の割合が一定率以上になるように義務づけられていることを知っていますか。（いずれかに○）

項目	回答者数	比率	グラフ
1. はい	127人	92.7%	
2. いいえ	10人	7.3%	

N=137

【問12】あなたは、障害のある人にとって住みよいまちをつくるために、どのようなことが必要だと思いますか。（あてはまるもの5つ以内に○）

項目	回答数	比率	グラフ
1. 何でも相談できる窓口をつくる	74人	13.5%	
2. 福祉に関する情報を広報やホームページなどで周知する	32人	5.8%	
3. 障害のある人が参加しやすいスポーツ・サークル・文化活動の場をつくる	53人	9.6%	
4. ボランティアを育成する	45人	8.2%	
5. 障害のある人が在宅での生活がしやすいよう、保健・医療・福祉のサービスを増やす	71人	12.9%	
6. リハビリ・生活訓練・職業訓練などの通所施設を整備する	30人	5.5%	
7. 障害のある人や子どもが地域とともに学べる保育・教育を進める	53人	9.6%	
8. 障害のある人が働ける場所を増やす	68人	12.4%	
9. 住民同士がふれあう機会や場をつくる	22人	4.0%	
10. 道路・建物などを利用しやすくする	46人	8.4%	
11. 災害時にスムーズな避難ができるしくみをつくる	18人	3.3%	
12. 差別や偏見をなくすための福祉教育や広報活動を進める	33人	6.0%	
13. その他（具体的に ）	5人	0.9%	
その他			
<ul style="list-style-type: none"> ・困っている方をさりげなく手助けをする ・現在の歩道を車椅子で利用するのは少し困難だと思う ・特段な感情なく接している（障害を気にしていない） ・障害のある人、障害のない人両者の教育 ・まずは行政からではないですか 			

N=550

【問13】あなたは、障害のある人にとって宇部市は暮らしやすいまちだと思いますか。（あてはまるもの1つに○）

項目	回答数	比率	グラフ
1. 思う	6人	4.4%	
2. やや思う	46人	33.6%	
3. あまり思わない	37人	27.0%	
4. 思わない	5人	3.6%	
5. わからない	43人	31.4%	

N=137

◎宇部市の障害者福祉施策に対して、ご意見やご要望などがありましたら、ご自由にお書きください

自由記入の内容
別紙

担当部署による総括

地域社会の中で障害のある人に対する配慮や工夫が進んできていると答えた人が平成30年度のアンケートでは74.5%に対し、令和元年度では71.5%、地域社会の中で、障害があることを理由にする差別があると答えた人は、平成30年度は83.5%であったのに対し、令和元年度は83.2%とどちらも微減しています。

また、障害のある人にとって宇部市は暮らしやすいまちだと思う人は、平成30年度では37.6%に対し、令和元年度は38%とほぼ横ばい状態でした。

障害に対する差別があると答えた人や障害のある人にとって暮らしにくいと思う人がまだまだ多く、障害者差別の解消や理解促進をはじめ、就労支援等障害のある人が暮らしやすいまちとなるよう、更に取り組みを進めていきます。

なお、自由意見の中では、「障害者が働ける場を増やしてほしい」、「障害者を雇用する企業の担当者は、障害の特性を理解してほしい」など、障害者が働く場での理解や支援を必要とする意見等もありました。

◎宇部市の障害者福祉施策に対して、ご意見やご要望などがありましたら、ご自由にお書きください。

分類	性別	年代	内容
1.活躍の場	男	60	障害者の方が活躍できる場を増やすこと、認知されること。
1.活躍の場	男	60	障害者を持つ親として、もっと働き場を設けてほしい。たとえば、市の臨時職員に多くの障害者を雇用してもらいたい。5年契約位で、50人くらい。
1.活躍の場	男	60	障害者を子供に持つ親御さんを複数知っています。共通の願いは、その子供たちが自立して生活できる環境を整備してほしいということだと思います。障害レベルに応じた職業訓練の充実、受け入れ企業の拡大が急務。
1.活躍の場	女	40	差別や偏見をなくすために、障害者に対して「ボランティア」をするのではなく、きちんと利害関係を持つべきだと思います。そのためには障害者にも働ける場所をもっと増やすべきだと思います。
2.まちづくり	女	70	障害者に対して生活しやすいまちづくり
2.まちづくり	男	50	枠組みに縛られ過ぎない取り組みをお願いしたい。障害者にとって危険な道路の段差部分は高齢者や健常者にとっても同様である。国や県が所管する部分だからと放置するのではなく市からも改善を要望して欲しい。
2.まちづくり	男	30	自動車社会ですので、公共交通機関の発展は難しいと思います。福祉タクシーなどの普及が効果的かと思います。
2.まちづくり	男	50	公園等のバリアフリー化が進んでない。障害のある段差等が多い。
2.まちづくり	女	50	10年以上前から、スペシャルオリンピックスに関わり障害者と共に活動もしている。最近母が車いすになり、そういう障害者をつれて出かけるのに宇部市はまだまだ不便だなと感じている。
2.まちづくり	男	60	障害者のみならず、誰もが暮らしやすいユニバーサルデザインの街づくりに取り組んで頂きたい。
2.まちづくり	女	40	宇部市健康福祉センターにエレベーターがついてたら車椅子の人が助かると思いました。
2.まちづくり	男	30	障害にも肢体不自由、精神、知的など障害者の数と同じだけ障害の種類があり、地域理解や協力など行政だけでは不可能な問題もあれば、歩道のバリアフリー化や福祉手当など行政にしか出来ない問題もあるかと思います。
2.まちづくり	男	60	バリアフリー化が進んでないと思います。
2.まちづくり	女	50	バス通りの狭く曲がりくねった道の端を車椅子の方が自分で車輪を動かし通っているが夕暮れは特に車で気づきにくく危険と思う。無事帰られたかなとも思う。歩道の整備等してあげたらと思う。

◎宇部市の障害者福祉施策に対して、ご意見やご要望などがありましたら、ご自由にお書きください。

分類	性別	年代	内容
2.まちづくり	男	70	郊外では、水路等に蓋をして歩道にしている所がある。このような道では段差が見受けられ、障害者が車椅子を利用しづらい。
2.まちづくり	男	30	公共交通機関を充実させてほしい。バス、電車増便。本数が少ないから利用者が少ないのも理由の一つではないか。障害がある方々は運転できない方もいるので必要だと思う。
2.まちづくり	女	40	宇部市内の小、中学校の障害者の方に対する設備はいかがですか？先日 下関市豊北中学校を訪問しました。障害者用トイレ、エレベーター、バリアフリーなど、素晴らしい設備対応でした。
2.まちづくり	男	20	障害者というレッテルを貼ること自体が差別化であるので、障害者を障害者と意識しなくなるような街づくりがありがたい。皆が共同で参加できるイベントを増やすと良い。
3.教育・啓発	男	60	比較的住みやすい街だと思います！教育の場が少ない。
3.教育・啓発	男	40	余り知識のない分野なので、もう少し興味を持っていきたいと思いました。
3.教育・啓発	男	70	障害者を雇用する企業の担当者が、その障害の特性を良く理解して雇用してほしい。
3.教育・啓発	女	40	某店内のゲームセンターに入り浸っている障害者をよく見かける。このような所しか出れないのかと、悲しくなる。もっと外にでれるように、周りの偏見や差別意識を無くす啓発を進める事が必要と思います。
3.教育・啓発	女	40	れいわ新選組の効果で、かなりの重度障害者が車いすに横たわった状態で街中に出かけておられる姿を見かけ関心しました。障害のある人が、自由に自分を表現することが認められる社会となる必要があると感じます
3.教育・啓発	男	50	現状を詳しく把握していないので何とも言えませんが、今後偏見がない、合理的配慮が進む社会にするため、学校教育や市民向けの研修、広報活動など推進して頂きたい。
3.教育・啓発	女	60	細々とですが、要約筆記のボランティア活動をしています。市職員の方の中にも手話ができる方が増えている感はありますが、一方で要約筆記については理解度は低いように思います。
3.教育・啓発	女	30	障害者に対する意識がまだまだ低い。障害者だって、一個人なのに、この障害があるから、このような性格、このように対応する、というようにマニュアル化しているように思える。

◎宇部市の障害者福祉施策に対して、ご意見やご要望などがありましたら、ご自由にお書きください。

分類	性別	年代	内容
3.教育・啓発	女	60	障害を持った子どもたちが、できるだけ地域の学校で学び、地域で子どもたちが、障害を持った子どもを自然に手助けできるようにすることを願います。
3.教育・啓発	女	40	障害を持つ人達にとって、少しずつ環境は良くなっては来ていると思います。しかし、まだまだ偏見の目や差別を感じることもあります。とにかく同じ人同士対等に生きていける社会になるように願います。
3.教育・啓発	女	50	まず相談窓口の周知ができていない。障害の理解も市民はできてないように思う。
3.教育・啓発	男	60	自主防災ということで、行政に頼らない防災活動が求められている。しかし、障害は多種多様であるため、地域の理解が深まっていない。物理的な対応と合わせて、心の対応への理解・啓発活動が必要と思われる。
3.教育・啓発	男	70	このような、アンケートは非常に良いことですね。結果を少しでも多くの人に衆知させるべきですね。障害者に対する差別を市民全体が無くすような街にしたいですね。
3.教育・啓発	女	50	家族に障害をもつ者がいないため、障害者の方の事について改めて考えた事はなかったが、自分が高齢になり体が不自由になった時の事を考えれば、すべての人に関わる事で市民の知識や関わりが必要だと思った。
4.制度	男	70	電動ベッドが必要不可欠な障害者が辛うじて歩行ができることで助成がないと聞くが。
4.制度	男	60	ハードよりもソフトを改善すべきと思います。
4.制度	女	40	グレーゾーンの人たちやその家族、周囲のサポートする方への相談窓口や援助・助成も必要。具体的な機能訓練で、社会に参加できる障害者もたくさんいます。幼少期からのサポートでもっと動ける人も増えます。
4.制度	女	40	個人情報で障害のある人の居住がわからないので、積極的でない障害のある人は誰からも何も教えてもらえない。ボランティアしたくても出来ない。
4.制度	男	60	障害者の方が市内にどれくらいいるのか、どんな仕事に従事しているのか、働かれていないのかなどの情報がある程度公開できないのでしょうか。
4.制度	男	70	<ul style="list-style-type: none"> ・公的支援内容が複雑。 ・手続き書類複雑、解り難い。自己申請で、聞かないと教えてもらえない。 ・障害者手帳他、更新日等の連絡はない、不親切。手続き申請から発効までの期間が長い。

◎宇部市の障害者福祉施策に対して、ご意見やご要望などがありましたら、ご自由にお書きください。

分類	性別	年代	内容
4.制度	男	70	専用駐車エリアに健常者と思われる女性・男性がステッカーを武器に止めている。妊婦などは用済み後の返却など、障害者を乗せない場合等の適用管理が徹底されていないようであり、制度を逆利用していると感じる。
4.制度	男	50	障害者福祉施策を策定するだけでなく、施策を実行し問題点があれば、早急に改善すべき内容を検討し、改善し新たに実行し、より良い施策になることを望む。
4.制度	男	40	障害者として定められた症状で線引しているが、誰でも人はできること・できないことは様々なので、認められたから何らかのサービスを受けられる・受けられない事をやめた方がいいと思う。それが差別に繋がるのでは。
4.制度	女	60	障害者という分類に納得できない。夜遊びしながら視力障害で福祉の恩恵を受けている人もいる。普通の人でも苦手なことがあるし、加齢も障害に近づく。各人の能力を最大限発揮できるようにするための政策をしてほしい。
5.その他	女	40	身近に障害を持った人がいない為、意識を割いてこなかった。アンケートを通じて、生まれたときからの障害だけでなく、病気や怪我などで誰にでも起こりうることではないかと思いついたので、今後は注視したいと思う。
5.その他	女	60	難しい事はよく知りませんが、優しい宇部市になれば、良いなと思います。
5.その他	男	70	障害のある方がない人と同様な生活をする事は望ましいと思うが、なかなか難しいことです。
5.その他	女	60	よく相談されてる方が市役所にいるのでご本人は、信頼されているのでしょうか。
5.その他	女	40	行政の方が一番対応が悪いと、携わっている中で感じています。共生社会ホストタウンの動きは絵に描いた餅のように感じています。残念だと思っています。